

## 山行報告書

山行報告提出者：鈴木聖志

山域・山名：下の廊下（富山県黒部市）	
入山日：平成29年10月7-9日（土-月）2泊3日 帰宅日：10月9日	
プラン担当者 正：鈴木 副：10/9 下の廊下 スノーブリッジ大崩壊	
参加者	<p>L：鈴木 報：鈴木 記：鈴木 今田、齋藤</p> <p>男 3名、女 名、計3名</p>
天候	
<p>10/7 土：雨</p> <p>10/8 日：晴れ</p> <p>10/9 月：晴れ</p> <p>10/7 以外は風もなく中秋の山行日和であった</p>	
10/6（金）	23：00 新宿発毎日アルペン号夜行バスにて室堂へ向かう。
10/7（土）	08：00 室堂着-08：30 山行開始-09：15 雷鳥平.09：15-11：00 別山乗越 11：10-11：40 剣沢（テント設営）12：00-13：00 一服剣-14：00 剣沢へ戻りテント泊 行動：5.5h
10/8（日）	05：15 発-剣沢雪渓-07：45 真砂沢 08：00-12：00 仙人池 12：10-14：00 仙人温泉小屋 14：10-16：10 仙人谷ダム 16：20-17：45 阿曾原（テント泊） 行動：12.5h
10/9（月）	05：25 発-06：30 仙人谷ダム 06：40-08：30 十字峡（見晴台見学）09：00-14：00 内蔵助谷出合 14：10-16：00 黒四ダム-16：51 トロリーバスで扇沢着、バスで長野駅経由JR新幹線で大宮 21：10 着 行動：10.5h
<p>荒天候時のエスケープルート：剣岳省略、小屋泊に切り替える、下の廊下をやめ水平歩道で樺平へ下山（または室堂へ戻る）。</p>	
装備と食糧	<p><b>共同装備：お助けロープ（鈴木）、スリング（今田） 共同食：なし</b></p> <p><b>車提供者：なし</b></p>
	<p><b>個人装備：ソロテント一式、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、医薬品</b></p> <p><b>ストーブ、シュラフ、マット、水、グローブ、スパッツ、10-12アイゼン、ストック、ヘルメット、風呂セット（阿曾原にて）</b></p> <p><b>個人食：食事x8 プラス予備食、行動食</b></p>
感想	<p>10/7 予報では午前中で雨が上がるとの期待で剣岳へ向かったが、全く止む気配無く一服剣で引き返しテントでくつろぐ（結局雨強くなり断念して正解）。</p> <p>10/8 夜半には星が瞬き始め好天のなか剣沢雪渓を下る。雪部分より夏道が多く真砂沢まで時間を要す。仙人池では紅葉を纏った逆さ裏剣が見事に映し出され疲れた体が癒された。行程がきつくタイムオーバー、阿曾原への最後の歩行はハッデン装着となった。阿曾原は小屋テントとも大混雑だったが、暗闇の中、露天風呂で12.5h歩行の汗を洗い流し翌日に備えた。</p> <p>10/9 今回山行のハイライト下の廊下へ向かう。十字峡では下の見晴台から大迫力の渓流を拝み、さらに最深部へ歩を進める。S字峡、白竜峡などの名所を堪能し疲れと闘いながらやっと内蔵助出合へ1.5h遅れで到着。最後のダムへの上りは辟易としたが何とかたどり着き3日間28.5hにわたる山行を終えた。登山道の崩落や雪渓トラバース、シャワー、番線断裂など危険箇所は多いが、それに勝る景観に励まされながら、帰り新幹線車中ではメンバーと琥珀色の液体で喉を潤したことは言うに及ばず。</p>